

2024年7月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

24054I M1(男性:22歳)・研究員(男性:38歳);自動車運転中に居眠り運転でカーブを直進してしまい、対向車と衝突した。胸骨骨折、小腸間膜出血(休業14日)及び頭部、頸部に打撲(休業7日)を負った。野外調査後で疲労が蓄積していた。

24076I 講師(男性:45歳);マウス解剖中、マウスに指を噛まれた(休業7日)。

・休業4日未満

24051M 事務職員(女性:64歳);ホワイトボードの足に躓き転倒。顔を擦りむき、腕と膝を打撲した(休業1日)。

24079M 主事員(女性:51歳);重量物を運搬中に腰痛を発症した(休業1日)。

・不休業事故・災害

24023F 特任専門職員(女性:53歳);雨で濡れていたマンホールで滑って転倒し、臀部を強打した。

24056F 看護師(女性:52歳);狭い通路内で検査機器を搬送中、機器と扉の間に手の指を挟み骨折した。機器は大きく重量があり、移動操作が難しいものだった。

24060F 技術専門職員(男性:56歳);ボンベにレギュレーターを取り付ける際、レギュレーターの取り付けナットがうまく回らなかったためボンベのネジ山を確認しようと素手で触ったところ、ネジ山が削れて生じた金属片が指に刺さった。必要に応じて保護手袋を着用すべきであった。

24063F B3(女性:20歳);1mL ホールピペットを安全ピペッターから取り外す際に力を入れ過ぎて破損。破片が掌に刺さった。

24065F 研究員等(女性:28歳);考えごとをしていて、自身で手前に開けた戸に額をぶつけ裂傷を負った。

24070F M2(女性:25歳);研究室内で作業中、気分が悪くなり救急搬送された。体調が万全でないところ、1時間立ち作業をしていた。鉄乳鉢での岩石粉碎作業であったが、防塵マスクは使用していなかった。

24072F M2(男性:24歳);マイクロームの刃のカセットを交換中、誤って手が刃に触れてしまい切創を負った。

24073F 業務協力者(女性:68歳);温室内で作業中、ハチに頭頂部を刺された。気づきにくい足場の裏側にハチの巣があった。

24075F 事務補佐員(女性:51歳);構内道路で徐行せず、一方通行を逆走する電動キックスケーターに轢かれそうになった。

・通勤災害

24050J 一般技術職員(女性:32歳);階段を一段踏み外して左足首を捻挫した。慣れた場所で他事に気を取られていた(休業1日)。

24055J 医療職員(女性:51歳);足を滑らせて転倒し、前額部切創、右側頭部打撲を負った。雨で路面が濡れていた(休業1日)。

24071J M1(男性:23歳);自転車で走行中、前を走る大型車が赤信号で停止したため、急ブレーキをかけたところバランスを崩し転倒した。大型車の陰に隠れてしまい、本人からは前方の交通信号が見えない状況だった。

24078J M1(男性:23歳);自転車で走行中に急に方向転換した歩行者を避けようとして転倒し、左膝を強打した。雨天で路面が滑りやすくなっていた。

24081J 事務補佐員(女性:50歳);出勤中、駅構内の雨で濡れていた床で滑って転倒。左足首を骨折した(休業2日)。

24082J 看護師(女性:60歳);土砂降りのなか自転車で通勤中、バランスを崩して自転車ごと右側へ転倒。右鎖骨及び右肋骨を4本骨折した。(休業30日)。

・その他

24067S コンセントに汚れがあり焦げが疑われたが、調査の結果発火の痕跡も配線の損傷もなかった。

・人的被害なし、設備災害でない小火あり

23360Nf 警告音を発報している UPS(交流無停電電源装置)を確認したところ、外部バッテリーユニットからの異臭を確認。装置を停止させ、バッテリーユニットを取り外そうとしたところ発火した。バッテリーユニットの配線のショートが原因と考えられる(火災認定)。

24053Nf 麺ゆで機のコンセントが焦げた(火災認定)。コンセントとプラグの隙間にお湯がかかり短絡した可能性がある。

24057Nf コンセントの焦げが発見された(火災認定)。電子レンジ、冷蔵庫、複合機、掃除機等電気容量以上の電気製品を接続していた。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

24052Nd レンタカーで後進して駐車しようとしたところ、車両前方部分をコンクリート基礎の突起部分に接触させた。

24059Nd 出入口のシャッターが完全に上がりきっていないままローダーを侵入させ、ローダーの屋根がシャッターに接触、破損させた。

24062Nd 燃料電池の実験で、誤操作により水素ガスに空気が混入し爆発。装置のガラスポートが破損した。

24064Nd 繁茂しているフキに隠れていた伐根に車体を接触させ破損させた。

24074Nd 自動車を後進させていたところ、雑草に覆われていた水道点検口を見落とし、衝突させて車体後部を損傷した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

24058Ni 実験に用いたイソペンタンを下水へ流した。14時間に渡る作業で疲労しており、廃液処理が億劫になった。

以上 教養学部等環境安全管理室